

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 85 2013年10月

発 行：日本信頼性学会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11 一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会

2013年度臨時総会および第26回秋季信頼性シンポジウム 開催案内

わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思いますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思えます。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、それに支えられた良い社会を築くことが重要であります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時 2013年11月5日（金）10:30～19:00

会 場 一般財団法人 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル（渋谷区千駄ヶ谷 5-11-10）
（JR 代々木駅・千駄ヶ谷駅より徒歩約 10 分、副都心線 北参道駅から徒歩約 7 分、
都営大江戸線 代々木駅・国立競技場駅から徒歩約 10 分）
http://www.juse.or.jp/about/location_map1.html

開催内容 <午前の部>
10:00～12:10 講演発表（一般セッション）
<午後の部>
13:00～13:50 特別講演「塩見 弘先生を偲ぶ」
夏目 武 氏（元 筑波技術短期大学, RAMS_Office）
14:00～16:15 講演発表（一般セッション）
16:25～16:55 2013年度臨時総会
17:00～19:00 情報交換会
●プログラム詳細 <http://www.reaj.jp/pdf/event/131105program.pdf>

参加費 <シンポジウム参加費> 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 3,000 円,
非会員 4,000 円, 学生 1,500 円
<情報交換会参加費> 2,000 円

申し込み 会員の方は、ご出欠回答書（葉書）にてお申し込みください。
会員外の方は、学会ホームページの「参加申込フォーム」にてお申し込みください。

申し込先 日本信頼性学会 事務局
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟 内
電話 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842 E-mail: reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会 IECディペンダビリティ規格研究会

信頼性、保全性及び保全支援の計画と管理を規定する国際規格IEC 60300 シリーズの適用に関する研究会です。会合は、月一回。いつからでも入会できます。

(日 時) 2013年10月29日(火) 18:30~21:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル会議室

(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分、地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分、都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)

(内 容) 保全性性能を確保するための中心的役割を持つ、保全性プログラムの適用の手引き、IEC 60300-3-10: Maintainability の研究を行います。規格の翻訳とその内容の審議を行い、適用上の問題点を明確にし、最終的に訳文書と解説書を作成します。理解を広める上で必要な関連規格、60300-3-11: Reliability centered maintenance, 60300-3-12: Integrated logistic support なども適宜調査します。前年度から継続中の 60300-3-9: Risk analysis of technological system の二次審議及び解説書のまとめを併行して行います。

この研究会は、これらの規格を正確に理解し、わが国の企業がこれらの規格を効果的に適用できるための検討を行い、会員に周知したいと考えています。新しい会員、特に、若手会員の参加を歓迎します。

(連絡先) 主 査 山内 慎二 (自宅) Tel/Fax 03-3948-7364

副主査 黒田 豊 (自宅) Tel/Fax 042-563-1501

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

当研究会は、信頼性シンポジウム、学会誌『信頼性』、解説書(『ライフサイクル コスティング—JIS C5750-3-3 導入と適用事例—)の発行を通じて、Lcc (Life cycle costing)に関する様々な研究成果を発表するとともに、Lccの啓発活動もおこなっています。

毎月1回、原則として金曜日の夜に千駄ヶ谷もしくは東高円寺の日科技連ビルに集まり、2時間にわたる研究会を開催しております。前半の1時間は情報交換と称し、各メンバーがこの1ヵ月間で収集したLccに関する情報提供などを行います。後半の1時間は毎回担当を決めて各自の最新の研究成果を報告し、質疑応答および討論を行います。なお、研究会メンバーだけではなく外部からゲストスピーカーを招き、Lccに関連性のあるトピックスで講演いただく場合もあります。当研究会以外のメンバーの参加も大歓迎です。

私たちと一緒にLccの研究を進めてくださる仲間を募集しています。Lccに少しでも関心がある方は、ぜひ研究会の会場にお越しください。お待ちしております。

(日 時) 2013年10月18日(金) 18:00~20:00

18:00~19:00 情報交換会

19:00~20:00 講演「信頼性工学の側面から見た公理的工学的規範」

筑波技術短期大学名誉教授 夏目 武氏

東京工科大学名誉教授 塩谷 光氏

2013年11月22日(金) 18:00~20:00

18:00~19:00 情報交換会

19:00~20:00 講演

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷ビル会議室

(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分, 地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分,
都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)

【12月13日】日本科学技術連盟 東高円寺ビル会議室

(東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅から青梅街道を新宿方向に約5分,「和田三丁目」交差点手前)

(連絡先) 研究会主査 門奈 哲也 ged01402@nifty.com
同 副主査 夏目 武 natsume@kiu.biglobe.ne.jp

日本信頼性学会 故障物性研究会 10月例会 (第110回)

(日 時) 2013年10月25日(金) 13:00~17:00

(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷ビル 1号館3階講堂

〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-11 http://www.juse.or.jp/about/location_map1.html

(議 題)

- 1) 幹事からの連絡事項 (13:00~13:10)
 - ・新入会員の紹介、オブザーバの紹介
 - ・信頼性学会 秋季シンポジウム情報 他
 - 2) プレゼン・議論 (1) -最近のプリント基板の信頼性・安全性問題- (13:10~14:30)
 - ① 電解銅めっきにおける添加剤が結晶構造に及ぼす影響評価 会員 佐竹 学氏
 - ② 購入プリント配線板の品質管理 会員 阿知波雅久氏
 - <議論のポイント>
 - (1) 購入プリント基板の品質管理
 - (2) プリント基板の小型化、薄膜化に関する新技術と課題
 - (3) 現状起きているプリント基板の故障や事故のメカニズム など

(休憩) (14:30~14:45)
 - 3) プレゼン・議論 (2) -電子機器・部品の国内品・海外品の品質・コスト- (14:45~16:05)
 - ① ドライバ組立工程におけるESD破壊 会員 坂本和也氏
 - ② 小物家電の良品解析事例 会員 神山 敦氏
 - <議論のポイント>
 - (1) 海外シフトや国内回帰に伴う品質・コスト比較
 - (2) 製品事故要因となった電子部品 (コンデンサなど) など
 - 4) 紹介&議論 (16:05~16:55)
 - ・不再現 (不安定) に関する事例紹介と議論 (その5)
 - 5) 今後の予定 (16:55~17:00)
 - ・12月例会 (第111回) 開催案内 (案)
開催日時: 2013年12月6日 (金) 13:00~17:00
開催場所: 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷ビル 3号館2階講堂
 - ・その他
- (連絡先) 日本信頼性学会 事務局 reaj@juse.or.jp
故障物性研究会 主査 土屋英晴 hideharu-tuchiya@anden.co.jp
副主査 味岡恒夫 ajioka542@oki.com

日本信頼性学会 関西支部 2013 年度 第 1 回講演会のご案内

次の通り、日本信頼性学会関西支部の講演会を開催します。会員の皆様は勿論、会員外の方々もお誘い合わせの上、是非多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

- (日 時) 2013 年 10 月 31 日(木) 14:00～17:00
(会 場) 中央電気倶楽部 2 階 213 号室 (大阪市北区堂島浜 2-1-25)
(講演者) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター
製品リスク評価課 情報分析・未然防止対策室 専門官 酒井 健一 氏
(題 目) 「NITE が取り組む製品事故の未然防止活動について」
(内 容) 製品事故の原因究明は NITE 製品安全センターの従来業務であり、その本質は再発防止です。製品事故が発生した場合に、ハザード(危険源)の有無を調査し、製品起因かどうかで安全かどうかを判断します。事故の責任追及がターゲットであり、ボトムアップ型の業務です。また、当センターは消費生活用製品に係る製品事故情報について、R-Map 手法によるリスク分析を、平成 20 年 4 月 1 日～平成 25 年 7 月 31 日までに約 2 万件実施し、その評価結果を基に事故調査の効率化と、経済産業省に対してリコール判断の根拠となる情報提供の取り組みを行ってきたところです。一方、世界の潮流はリスクアセスメントの観点立ち、安全はリスクの大きさで決まり、リスクベースで判断しています。リスクアセスメントの本質は未然防止であり、リスク低減がアウトプットで、アウトカムは社会的リスクの低減です。当センターにおいても、リスク低減をターゲットに定め、従来の再発防止から新たに未然防止に取り組むこととしました。リスク低減がターゲットであり、トップダウン型の業務です。具体例の一つとして、製品事故をハザード毎に危害シナリオにモデル化して、事業者に提供することで社会のリスク低減に貢献する活動に取り組んでいます。アウトプットとして、典型的な危害シナリオのモデル化を作業中であり、今回はその途中経過を報告させていただきます。
- (参加費) 会員及び学生：無料 非会員：2,000 円
(申込方法) 日本信頼性学会のホームページ (<http://www.reaj.jp/>) からご予約ください。
(参加人数) 30 名とします。定員になり次第締め切ります。
(申込締切) 2013 年 10 月 25 日(金)
(問合せ先) 日本信頼性学会 関西支部 事務局 [植村]
〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25 中央電気倶楽部 4 階
一般財団法人 日本科学技術連盟 大阪事務所 内
Tel : 06-6341-4627 / Fax : 06-6341-4615 / E-mail : reaj-kansai@juse.or.jp

経営情報学会 2013 年秋季全国研究発表大会

ービッグデータの可能性ー

- (開催日) 2013 年 10 月 25 日(金)：現地研修会
2013 年 10 月 26 日(土)、27 日(日)
(会 場) 流通経済大学 (神戸市西区学園西町 3 丁目 1 番)
(主 催) 経営情報学会

- (協 賛) 日本信頼性学会 他
- (概 要) 2013年秋季全国研究発表大会を、神戸学園都市にある流通科学大学で10月25日から27日にかけて開催することとなりました。テーマは「ビッグデータの可能性」としました。
- 神戸での開催は2006年の神戸商科大学大会以来となります。2006年には震災の跡がそこそこに見られた神戸の街でも新たな時代に向けた動きが加速しています。その一つの象徴であるスーパーコンピュータ「京」の見学会を10月25日（金）の午後に企画し、基調講演、記念講演ではビッグデータに関連したお話をいただく予定にしています。
- 懇親会は神戸港から明石海峡大橋を巡る「コンチェルト」でのクルーズで海からの神戸をご堪能いただくという趣向です。多数の皆さまのご参加を心からお待ちしております。
- (参加費) (事前決済) 正会員：6,000円、学生：1,500円、非会員：8,000円、学生非会員5,000円
(当日決済) 正会員：7,000円、学生：2,000円、非会員：9,000円、学生非会員6,000円
懇親会参加費：事前6,400円、当日6,800円
- (問合先) 一般社団法人経営情報学会 大会ヘルプデスク
〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター
FAX：03-3368-2869 e-mail：jasmin-desk@bunken.co.jp
- 詳細は、 http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2013_fall/ をご参照ください。

平成 25 年度宇宙航空品質保証シンポジウム

- (開催日) 2013年11月1日（金）
- (会 場) 秋葉原ダイビル 2F 秋葉原コンベンションホール
- (主 催) (独) 宇宙航空研究開発機構
- (概 要) 「分かち合おう、使い合おう！安全・信頼性・品質の叡智」をテーマに、JAXA 及び宇宙航空関連企業のプロジェクト等における最新の安全・信頼性・品質保証活動や、宇宙航空分野以外の企業の安全・信頼性・品質保証への取り組み等を紹介する講演を予定しておりますので、奮ってご参加ください。
- (問合先) (株) ディーワークス内
TEL:03-5835-0388 FAX03-5835-0296 E-mail：aqas2013@d-wks.net
- 詳細は、 <http://sma.jaxa.jp/AQAS> をご参照ください。

第30回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム

- (開催日) 2013年11月5日（火）～7日（木）
- (会 場) 仙台国際センター（宮城県仙台市）
- (主 催) 電気学会 センサ・マイクロマシン部門
- (協 賛) 日本信頼性学会 他
- (同時開催シンポジウム)
- 第5回「マイクロ・ナノ工学シンポジウム」主催：日本機械学会マイクロ・ナノ工学部門
<http://www.jsme.or.jp/mnm>
 - 第5回「集積化MEMSシンポジウム」主催：応用物理学会集積化MEMS技術研究会
<http://annex.jsap.or.jp/MEMS/>
- 本シンポジウムに参加登録すると、上記2つのシンポジウムにも参加することができます。
- (問合先) 「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム事務局

株式会社セミコンダクタポータル TEL03-3560-3565

E-mail : sensorsympo_2013@seemiconportal.com

詳細は、<http://www.sensorsymposium.org/> をご参照ください。

第 33 回ナノテストングシンポジウム (NANOTS2013)

- (開催日) 2013 年 11 月 13 日 (水) ~15 日 (金)
(会場) 千里ライフサイエンスセンター (大阪府豊中市新千里東町 1-4-2)
(主催) ナノテストング学会
(協賛) 日本信頼性学会 他
(概要) LSI等のナノスケール構造を持った材料・デバイスのテストング (テスト, デバッグ・診断, 物理解析) 技術を主たるテーマとするシンポジウムです。
(参加費) 一般13,000円, 学生10,000円
(問合せ先) ナノテストング学会事務局 (三浦氏, 御堂氏)
吹田市山田丘2-1 大阪大学大学院情報科学研究科 情報システム工学専攻 中前研内
TEL.06-6879-7813 FAX.06-6879-7812 E-mail: NANOTS@ist.osaka-u.ac.jp
詳細は、<http://www-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/> をご参照ください。

産業・化学機械と安全部門 研究発表講演会 2013 秋

—安全・安心を支える機械システム—

- (開催日) 2013 年 11 月 15 日 (金)
(会場) 東京工業大学大岡山キャンパス 蔵前会館 大会議室 (東京都目黒区大岡山 2-12-1)
(主催) 日本機械学会
(協賛) 日本信頼性学会 他
(基調講演) リスクベースメンテナンス (仮題) / 岩ヶ谷氏 (ハネウェルジャパン)
(参加費) 会員5,000円、会員外7,000円, 学生員2,000円, 一般学生3,000円 (論文集1冊含む)
日本信頼性学会会員の方は会員参加費にてご参加いただけます。
(問合せ先) 一般社団法人日本機械学会
〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館5階
TEL.03-5360-3504 FAX.03-5360-3508 E-mail: watanabe@jsme.or.jp
詳細は、<http://www.jsme.or.jp/icm/> をご参照ください。

信頼性・破壊力学合同シンポジウム

—第 27 回信頼性シンポジウム, 第 16 回破壊力学シンポジウム—

- (開催日) 2013 年 11 月 20 日 (水) ~22 日 (金)
(会場) 阿蘇ファームランド 多目的ホール (熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽)
(主催) 日本材料学会
(協賛) 日本信頼性学会 他
(参加費) 会員・協賛学協会員8,000円, 非会員10,000円,
学生会員 (協賛学協会員) 3,000円, 学生非会員5,000円 ●懇親会は別途費用が必要です。

(問合先) 日本材料学会 信頼性・破壊力学合同シンポジウム係
〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1-101
TEL075-761-5321 FAX075-761-5325 E-mail : jimuj@jsms.jp
詳細は、 http://www.jsms.jp/index_4.html をご参照ください。

第 19 回品質機能展開 (QFD) シンポジウム

—企画・開発力強化による競争優位の実現—

(開催日) 2013 年 11 月 21 日 (木) ~22 日 (金)
(会場) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル (渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11)
(主催) 日本科学技術連盟
(概要) 品質機能展開 (QFD) は、新製品の開発段階からの確実な品質保証にも有効であり、多くの企業で実践されながら一般的な手順や理論が確立されてきました。
QFDをより効果的に活用するためには、他の技法・手法と融合することがよく行われています。各種技法・手法を融合し、製品を開発することは、ものづくりが得意な日本人の得意とするところでもあります。しかし、魅力的な製品を生み出す企画や開発力がなければ、いくらよいものを作っても、競争優位に立つことはできません。
今回のシンポジウムでは、企画・開発力強化による競争優位の実現をテーマに掲げ、QFDをうまく利活用し、魅力的なものづくり、グローバル化に対応可能なものづくりのできる方法を、QFDとその他の手法を融合した方法等を通じて、議論したいと考えております。皆様の積極的な参加をお待ちしております。
(参加費) シンポジウム : 18,900円, チュートリアル1 : 5,250円, チュートリアル2 : 5,250円
(チュートリアルのみのお申し込みはできません)
(申込先) 一般財団法人日本科学技術連盟 セミナー受付グループ
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-11
TEL03-5378-9814 FAX03-5378-1814 E-mail : regist@juse.or.jp
(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 教育推進部 第一課 QFD担当
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-2-1
TEL03-5378-9814 FAX03-5378-7842 E-mail : techsemi@juse.or.jp
詳細は、 <http://www.juse.or.jp/tqm/293/> をご参照ください。

平成 26 年度笹川科学研究助成 募集

平成 26 年度笹川科学研究助成につきまして、例年通りに募集を行うこととなりましたので、奮ってご応募ください。

(募集期間) ○学術研究部門 : 平成 25 年 10 月 1 日 ~ 平成 25 年 10 月 15 日 (締切近し!)
○実践研究部門 : 平成 25 年 11 月 1 日 ~ 平成 25 年 11 月 15 日
(応募方法) 下記 URL より「募集要項」「申請書記入の手引き」をご覧の上、ご応募ください。
(問合先) 日本科学協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5 階
TEL03-6229-5365 FAX03-6229-5369 E-mail : josei@jss.or.jp
詳細は、 <http://www.uss.or.jp/ikusei/sasakawa/> をご参照ください。

第5回横幹連合コンファレンス

異文化の新結合と地の創造 ～うどん県発・地域ブランド創造による地域活性化～

文理にまたがる我が国の39の学会(他に加盟申請中1学会)の連合体である横断型基幹科学技術研究団体連合(略称「横幹連合」)が隔年で開催する横幹連合コンファレンスを、本年は下記の要領にて開催いたします。

- (開催日) 2013年12月21日(土)～22日(日)
(会場) 香川大学 幸町北キャンパス(香川県高松市幸町1-1)
(主催) 横幹連合
(共催) 横幹技術協議会, 香川大学
(問合せ先) 横断型基幹科学技術研究団体連合 TEL&FAX -3814-4130 E-mail : conf2013@trafst.jp
詳細は, <http://www.trafst.jp/conf2013/index.html> をご参照ください。

ソフトウェアテストシンポジウム2014 東京

- (開催日) 2014年3月7日(金)～8日(土)
(会場) 東洋大学 白山キャンパス(東京都文京区)
<http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-hakusan.html>
(主催) ソフトウェアテスト技術振興協会(ASTER)
(協賛) 日本信頼性学会 他
(基調講演) ソフトウェアテストおよび品質に関する有識者を招聘予定
(問合せ先) 特定非営利活動法人 ソフトウェア技術振興協会(ASTER) 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-10 常和芝ビル7階
TEL03-5444-7601 FAX03-5444-8095 E-mail : tokyo-query@jasst.jp
詳細は, <http://jasst.jp/> をご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2013/10/18		http://www.reaj.jp/
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2013/10/25		http://www.reaj.jp/
経営情報学会 2013 年度秋季全国研究発表大会 ービッグデータの可能性ー	流通経済大学 神戸市西区	2013/10/25-27		http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2013_fall/
<u>IEC ディペンダビリティ規格研究会</u>	日科技連 千駄ヶ谷	2013/10/29		http://www.reaj.jp/
関西支部 2013 年度第 1 回講演会	中央電気倶楽部 大阪市北区	2013/10/31		http://www.reaj.jp/
平成 25 年度宇宙航空品質保証シンポジウム	秋葉原ダイビル	2013/11/1		http://sma.jaxa.jp/AQAS

	秋葉原			
平成 26 年度笹川科学研究助成募集	日本科学協会		2013/10/15 ㇿ 2013/11/15 ㇿ	http://www.jss.or.jp
日本信頼性学会第 26 回秋季信頼性シンポジウム	日科技連 千駄ヶ谷	2013/11/5		http://www.reaj.jp/
第 30 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム	仙台国際センター 仙台市	2013/11/5-7		http://www.sensorsymposium.org/
第 33 回ナノテストニングシンポジウム	千里ライフサイクル センター 豊中市	2013/11/13-15		http://www-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/
産業・化学機械と安全部門 研究発表講演会 2013	東京工業大学 目黒区大岡山	2013/11/15		http://www.jsme.or.jp/icm/
Lcc 研修会	日科技連 千駄ヶ谷	2013/11/22		http://www.reaj.jp/
第 19 回品質機能展開 (QFD) シンポジウム ー企画・開発力強化による競争優位の実現ー	日科技連 千駄ヶ谷	2013/11/21-22		http://www.juse.or.jp/tqm/293/
信頼性・破壊力学合同シンポジウム	阿蘇ファームランド 熊本県阿蘇郡	2013/11/20-22		http://www.jsms.jp/index_4.html
故障物性研究会	日科技連 千駄ヶ谷	2013/12/6		http://www.reaj.jp/
第 5 回横幹連合コンファレンス 「異分野の新結合と知の創造」	香川大学 高松市	2013/12/21	2013/9/5	http://www.trafst.jp/conf2013/index.html
ソフトウェアテストシンポジウム 2014 東京	東洋大学 文京区	2014/3/7~8	2013/9/27	http://jasst.jp/